

ふくしまの森林文化調査カード

No.27

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 屏風	(ふりがな) びょうぶ	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	陸奥国信夫伊達惣検地屏風 安斎直己家文書38号		
伝承地域	—		
由来(年代)	幕府代官の国領半兵衛重次(1620—1701)が1679(延宝7)年6月にふくしまを離れるに際して、感謝の意味を込めてふくしまの検断役であった安斎氏に贈ったものと言いつたされており、屏風の記載内容から遅くとも延宝年間(1673—1681)には作成されたものとみられる。		
内容	六曲一双の屏風で、阿武隈川左岸の信夫郡の一隻と阿武隈川右岸の伊達郡の一隻からなる。各村は色分けされ、当時の村名・石高が記されていると同時に、当時の地形・土地利用・溜池・井堰・一里塚・木戸・渡し場・中世城郭址・屋敷林・植生なども分かり、信達地域の歴史を調べる上で、大変貴重な情報が盛り込まれている。屏風は向かって右が南、左が北である。右下から左下に流れる大河は阿武隈川、右上の山間部から左下で阿武隈川に合流するのは広瀬川、中央上が玉野(相馬市玉野)。		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	市内バス:福島駅東口～市内循環バス～「文化センター入口」下車 徒歩5分		
文化財等の指定状況	福島県指定重要文化財		
問い合わせ先	福島県歴史資料館(Tel:024-534-9193)		

【フリーフォーマット】

キーワード



陸奥国信夫伊達惣検地屏風 安齋直己家文書38号